



えぞふくろう

株式会社 残間金属工業 ニュースレター 第11号 平成29年3月31日発行



チャレンジ

(代表取締役 残間 順雄)



釧路にも春の香りが漂うようになってきました。

弊社 株式会社 残間金属工業はH28年の締めは3月です。

今年度は、5月に経済産業省より2016年はばたく中小企業、小規模事業者300社に選定されました。また、10月に(株)全国鉄骨評価機構より(社)全国鉄構工業協会最上位のHグレードの性能評価適合工場に昇格認定され、1月に国交省よりHグレード認定登録を受けました。この間工場内のクレーンの増強、ものづくり助成金を活用したロボット溶接機の導入、AW溶接技能者の養成などの改革を進めています。

反面、労働災害の発生した年度でもあります。

現場、工場での転落、通勤時の交通事故等3件もの労災を起こしてしまい、緊急に安全委員会による総点検、安全作業の確認を実施致しました。

弊社の大前提は「健康管理で安全第一」で進めています。

これらのことをふまえ、新年度に向けて再構築をしなければなりません。

全員で意識の改革を計り、教育、共育を進め朝礼で唱和している「大きな声と笑顔で挨拶をし、チームワークとやる気で利益の出せる会社になろう」を一步二歩と前進します。

又、4月より新卒者2名、中途採用2名の計4名が入社の予定になっています。

これらの人達と全員同じ思いで未来に向かって歩んでいきます。

新年度は、ハード面では安全な職場環境を確保する為の工場の整備に着手し、鋼材倉庫の増築、各設備の総点検と更新、クレーンの増設等を行う計画です。

ソフト面では安全作業の確認、意識の改革、お客様対応力の向上、社員全員で喜びを生み出す職場作りを進めていきます。

新しい年度は、グループ会社石狩の共和鉄工(株)と合同会社Zプランニングと(株)残間金属工業、お取引様と共にものづくりを通して社会貢献を行います。

どうぞ新生・株式会社 残間金属工業グループにご期待下さい。

研修旅行

1月27、28日に札幌、石狩の会社見学とグループ会社との交流会に行ってきました。見学させてもらった会社は(株)竹原鉄工所、阿部鋼材(株)、共和鉄工(株)の3社です。どの会社もいかに効率のいい仕事をするために機械の設置や働きやすい職場作りなどの様々な場面でもとても勉強になりました。グループ会社共和鉄工との交流会もお互いに思っていることを話し合え、大変充実した2日間になりました。平成29年度は釧路で行う予定です。



交流会の様子



↑ 共和鉄工(株)



↑ 阿部鋼材(株)



(鉄骨工場 大澤 凌) 竹原鉄工所

メイドインくしろ

2月4,5日の両日に、釧路市観光国際交流センターにおいて隔年で行われる“メイドインくしろ”が開催されました。地場工場を広く知って頂こうというもので、

製造業のパネル展示から工業製品、溶接体験や木工製品、また高車によるロボット操作の体験も行われました。

当社所属部会の鉄工協会青年部は、アルミパーツを組み立てて模型を製作する体験を行い、大勢の方々に賑わっていました。

最終日にフロアの中央で当社によるミニチュア鉄骨の建方の実演を行いました。

建方時には建舞後にもちまきをし、もちを手にした子供達の笑顔がとても印象的でした。

(鉄骨工場 原 大樹)



もちまきの様子



↑会場全体



長ぐつアイスホッケー

今年の冬もやってきました！長ぐつアイスホッケーの時期が！！

2月11・12日に開催された第13回全日本長ぐつアイスホッケー選手権大会兼第32回北海道長ぐつアイスホッケー選手権大会で、今年は混成と女子の試合に出場しました。

混成は残念ながら予選敗退でしたが、女子では全国4位を獲得することができました(o'▽'o)

来年こそは1位を獲ってみたいです。

皆さんの参加もお待ちしています。

(第3工場 中村 光保)



チーム
SGRAYSの皆さん



編集後記

第11号えぞふくろう、いかがだったでしょうか。最後まで読んでいただきありがとうございます。今回の編集に参加させて頂きました私、佐々木美香と申します。2月20日よりパートとして採用して頂き、一ヶ月が過ぎました。色々不慣れで至らない点ばかりですが、当社のえぞふくろうを皆様に楽しんで頂けるよう、精一杯努力して参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。引き続き当社及び当誌のご愛顧をよろしくお願い致します。(佐々木 美香)

発行



株式会社 残間金属工業

北海道釧路郡釧路町国営5-12-1

TEL 0154-36-1961 FAX 0154-36-5321

Email zanma@zanma.co.jp

http://www.zanma.co.jp